

IR資料

【2025年3月期 第2四半期（中間期）決算補足説明資料】

矢作建設工業株式会社 証券コード1870（東証プライム・名証プレミア）

I

2025年3月期中間期決算

2025年3月期中間期決算ハイライト

■ 売上高

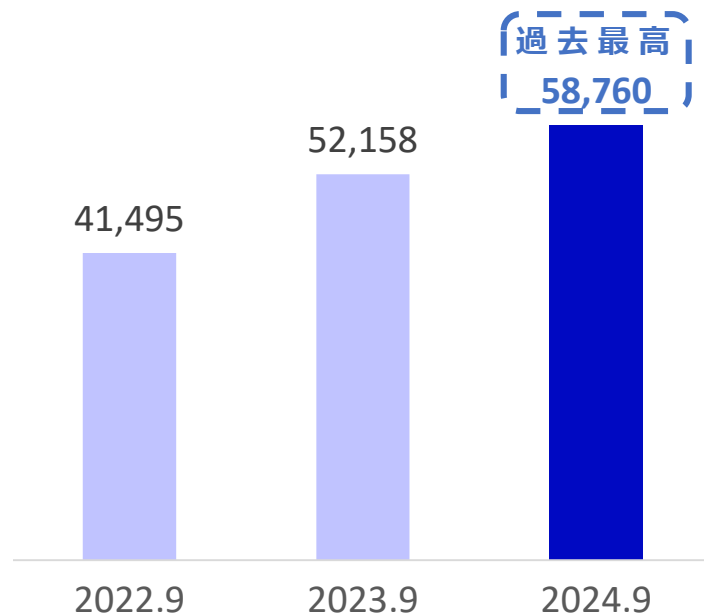
売上高は587億円と前期比66億円の増収となり、中間期として2期連続で過去最高を更新

■ 利益

売上総利益は前期より若干の増益となったものの、従業員の給与水準の引き上げにより販売費及び一般管理費が増加したことで、営業利益は12億円と前期比2億円の減益、中間純利益は9億円と前期比0.5億円の減益

売上高 (百万円)

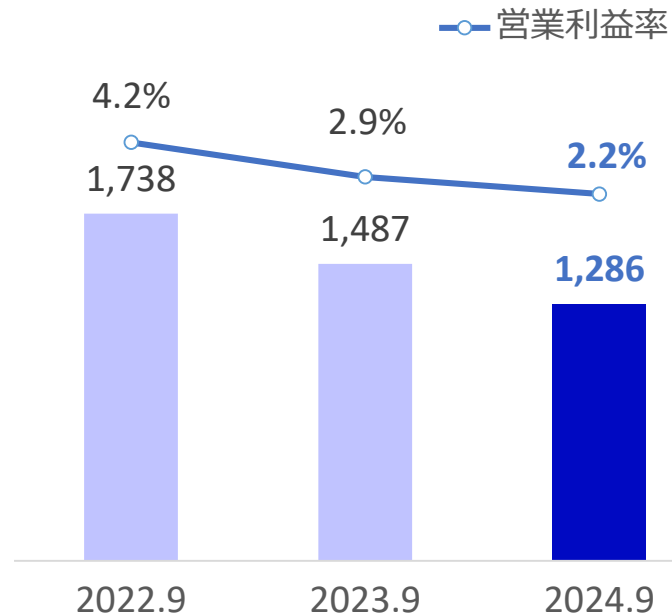
前期比**66**億円増 (12.7%増) 



【ご参考】前期までの過去最高値：2024年3月期中間期 52,158百万円

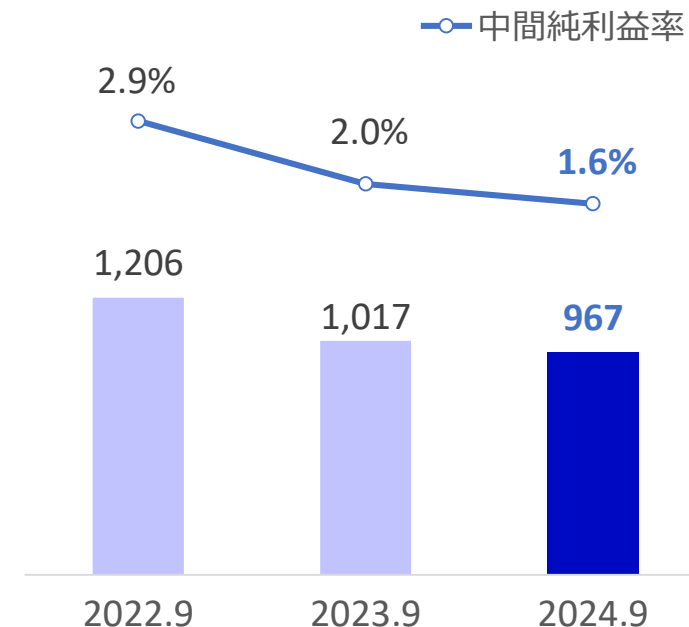
営業利益 (百万円)

前期比**2**億円減 (13.5%減) 



中間純利益 (百万円)

前期比**0.5**億円減 (4.9%減) 



2025年3月期中間期決算概要

	2022.9 実績	2023.9 実績	2024.9 実績	(単位：百万円)	
				前期比 増減額	増減額
売上高	41,495	52,158	58,760	6,602	12.7%
完成工事高	35,715	45,728	49,581	3,852	8.4%
不動産事業等売上高	5,779	6,429	9,179	2,749	42.8%
売上総利益	5,995	6,377	6,421	43	0.7%
(売上総利益率)	(14.4%)	(12.2%)	(10.9%)		▲1.3pt
完成工事総利益	4,003	4,558	3,409	▲1,148	▲25.2%
不動産事業等総利益	1,992	1,819	3,011	1,192	65.5%
販売費及び一般管理費	4,257	4,889	5,134	244	5.0%
営業利益	1,738	1,487	1,286	▲200	▲13.5%
(営業利益率)	(4.2%)	(2.9%)	(2.2%)		▲0.7pt
経常利益	1,775	1,564	1,325	▲238	▲15.3%
(経常利益率)	(4.3%)	(3.0%)	(2.3%)		▲0.7pt
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,206	1,017	967	▲50	▲4.9%
(中間純利益率)	(2.9%)	(2.0%)	(1.6%)		▲0.4pt

売上高・営業利益増減要因（対前期実績）

■ 売上高・・・前期比66億円の増収となり、前年同期に引き続き過去最高を更新

建設事業：大型物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比38億円の増収

不動産事業：自社開発産業用地の売却や分譲マンション事業の販売戸数増加が寄与し、前期比27億円の増収

■ 利益・・・営業利益は前期比2億円の減益

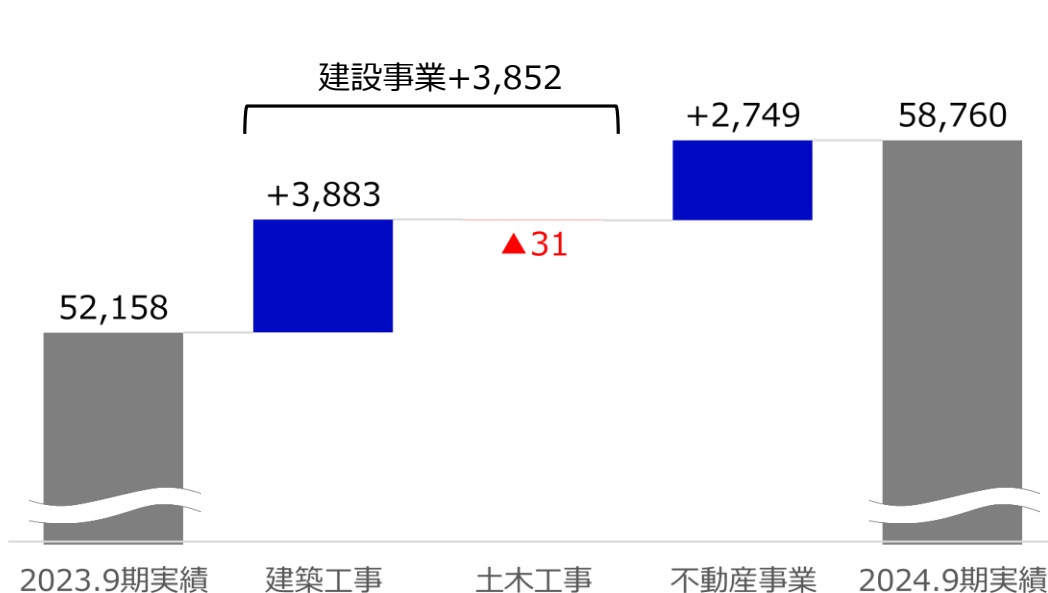
建設事業：一部の大型建築工事において、物価上昇の影響などを受けて工事損失引当金を計上したことに加え、土木工事において、前期に一部大型工事の大幅な変更増額による利益の獲得があった影響もあり、建設事業は前期比11億円の減益

不動産事業：利益率の高い自社開発産業用地の売却により、前期比11億円の増益

販管費：給与水準引き上げなどの人財投資の増加、広告宣伝費などの経費の増加もあり、前期比2億円の増加

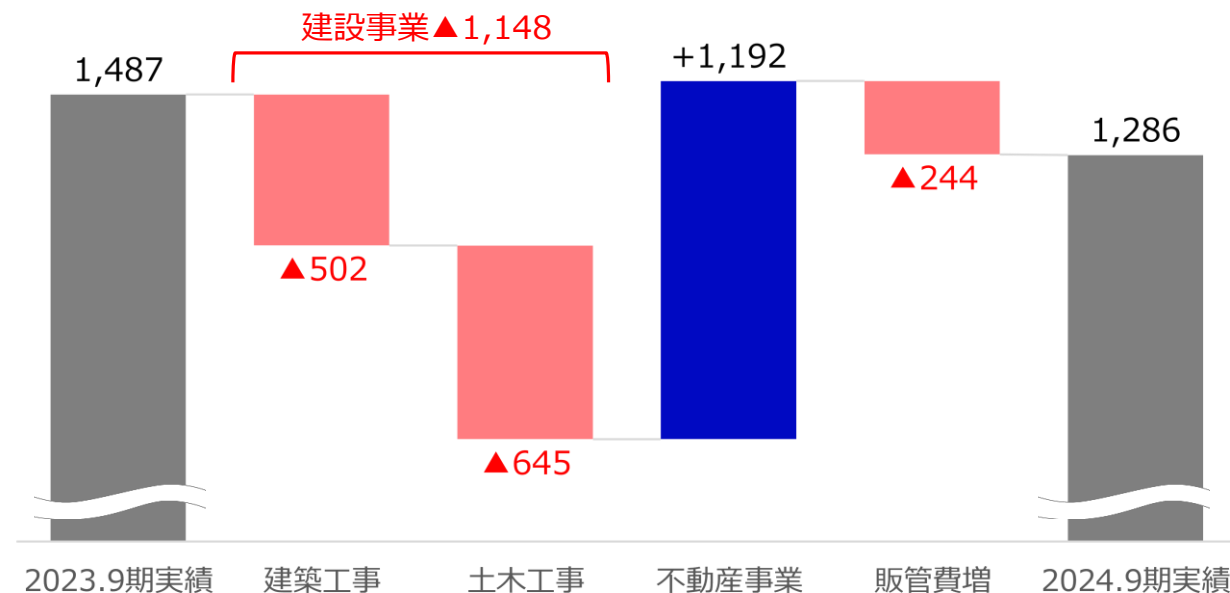
売上高（百万円）

対前期**6,602**百万円増



営業利益（百万円）

対前期**200**百万円減



業績予想【期首（2024年5月9日）公表予想】との比較

(単位：百万円)

	2024.9	2024.9	予想比	
	予想	実績	増減額	達成率
売上高	57,000	58,760	1,760	103.1%
完成工事高	48,600	49,581	981	102.0%
不動産事業等売上高	8,400	9,179	779	109.3%
売上総利益	6,000	6,421	421	107.0%
(売上総利益率)	(10.5%)	(10.9%)		0.4pt
完成工事総利益	3,400	3,409	9	100.3%
不動産事業等総利益	2,600	3,011	411	115.8%
販売費及び一般管理費	5,100	5,134	34	100.7%
営業利益	900	1,286	386	143.0%
(営業利益率)	(1.6%)	(2.2%)		0.6pt
経常利益	900	1,325	425	147.3%
(経常利益率)	(1.6%)	(2.3%)		0.7pt
親会社株主に帰属する 中間純利益	600	967	367	161.3%
(中間純利益率)	(1.1%)	(1.6%)		0.5pt

売上高・営業利益増減要因（対期首予想）

■ 売上高・・・予想を17億円上回る

建設事業：土木工事において、一部工事の着手が遅れたことなどから全体として想定の進捗に届かなかったものの、建築工事において、大型物流施設工事を中心に施工が順調に進捗したことで予想を9億円上回る

不動産事業：分譲マンション事業において、当期に完成し、引渡しを開始した物件が完売するなど販売が好調に推移したことで、予想を7億円上回る

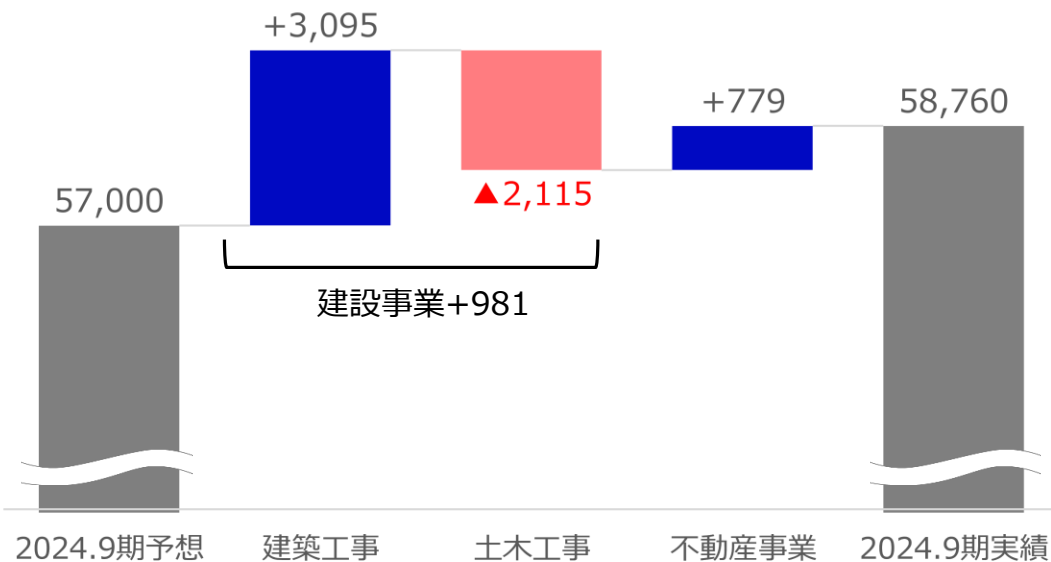
■ 利益・・・営業利益は予想を3億円上回る

建設事業：土木工事の減益分を建築工事の増益がカバーしたことで、概ね予想通り

不動産事業：分譲マンション事業の増収効果に加え、不動産販売において当初計画より利益の積み増しが図れたことにより、予想を4億円上回る

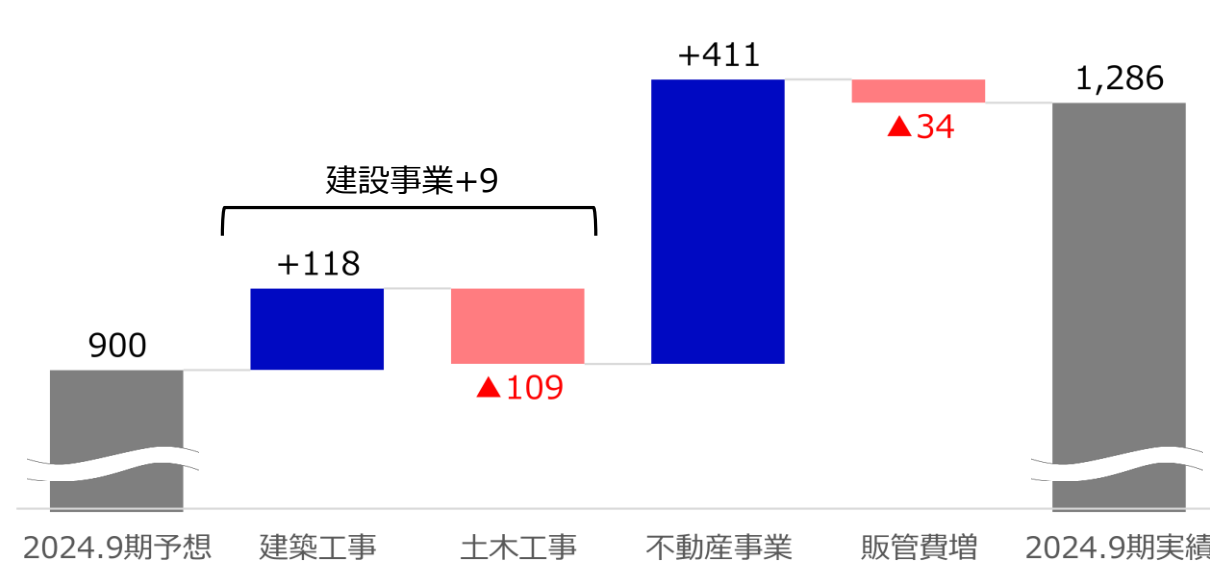
売上高（百万円）

対前期**1,760**百万円増



営業利益（百万円）

対前期**386**百万円増



〈セグメント別概況〉 建築事業

■ 受注高

大型物流施設や大型オフィスビルなど複数の大型建築工事を受注したことにより、前期比399億円の大幅増加

■ 売上高

大型物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比38億円の増収

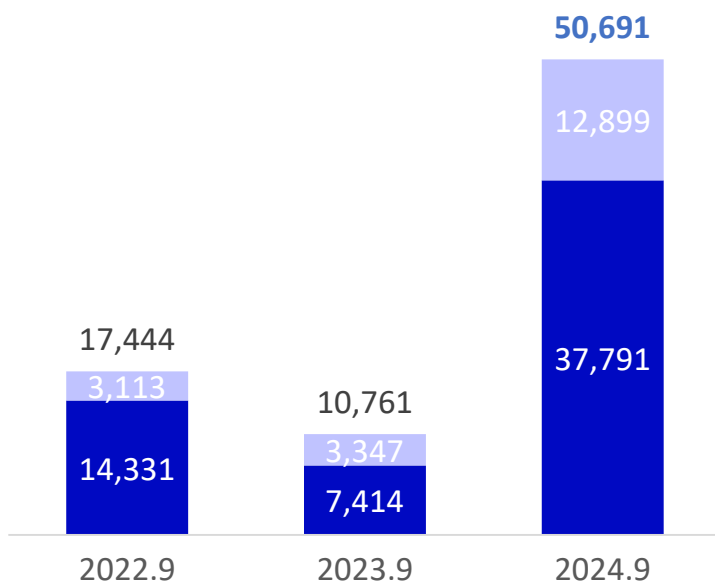
■ 売上総利益

増収効果があったものの、一部の大型建築工事において物価上昇の影響などを受けて工事損失引当金を計上したことにより、前期比5億円の減益

用途別受注高 (百万円)

前期比**399**億円増 (**371.0%**増) ↗

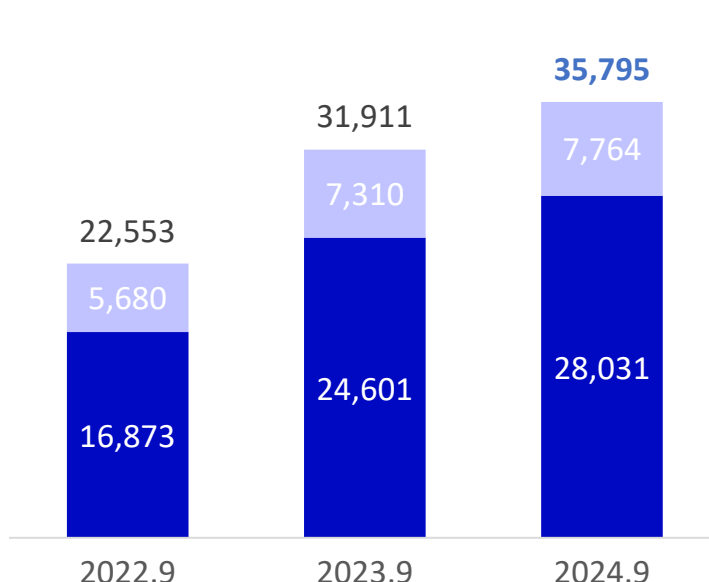
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



用途別売上高 (百万円)

前期比**38**億円増 (**12.2%**増) ↗

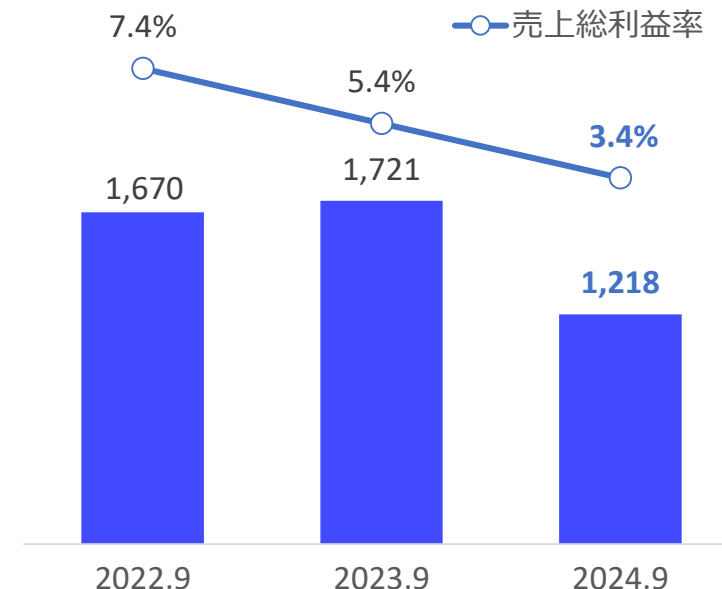
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



売上総利益 (百万円)

前期比**5**億円減 (**29.2%**減) ↘

○ 売上総利益率



〈セグメント別概況〉 土木事業

■ 受注高

民間工事を中心に複数の大型工事を受注したことにより、前期比74億円の大幅増加

■ 売上高

官庁工事、民間工事とも全て概ね前期並み

■ 売上総利益

前期に一部大型工事の完成時の大幅な変更増額による利益の獲得があった影響もあり、前期比6億円の減益

用途別受注高 (百万円)

前期比**74億円増 (58.9%増)**

■官庁工事 ■民間工事 ■PW工事

用途別売上高 (百万円)

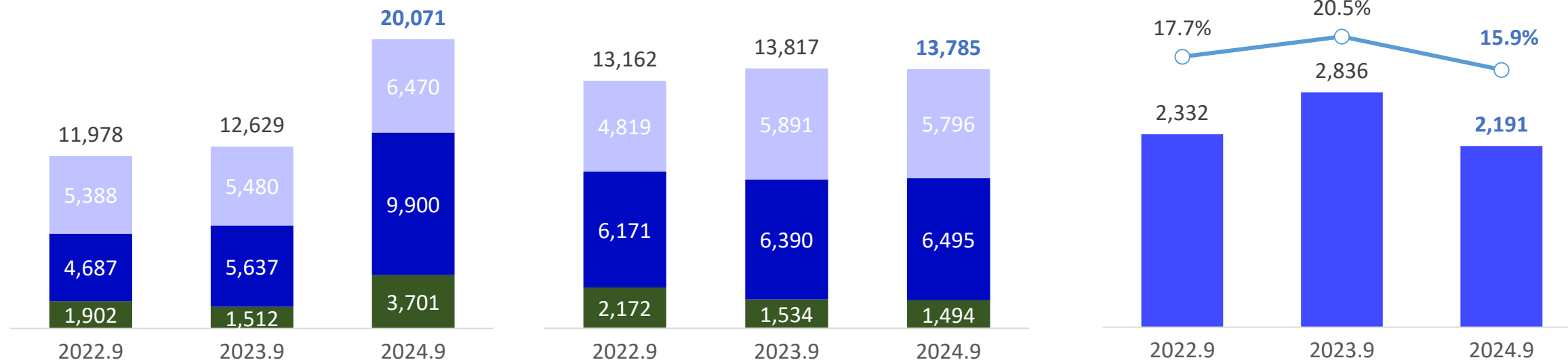
前期比**0.3億円減 (0.2%減)**

■官庁工事 ■民間工事 ■PW工事

売上総利益 (百万円)

前期比**6億円減 (22.8%減)**

○売上総利益率



※PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

〈セグメント別概況〉 不動産事業

■ 売上高

自社開発産業用地の売却や分譲マンション事業の販売戸数増加が寄与し、前期比27億円の増収

■ 売上総利益

利益率の高い自社開発産業用地の売却により、前期比11億円の増益

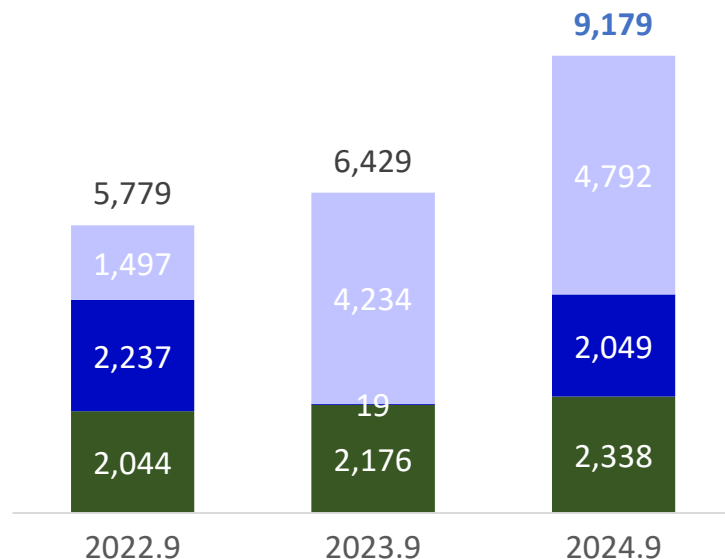
■ 分譲マンション事業

当期に完成し、引渡しを開始した物件が完売したことなどにより、前期比31戸の増加

売上高内訳 (百万円)

前期比**27億円増 (42.8%増)**

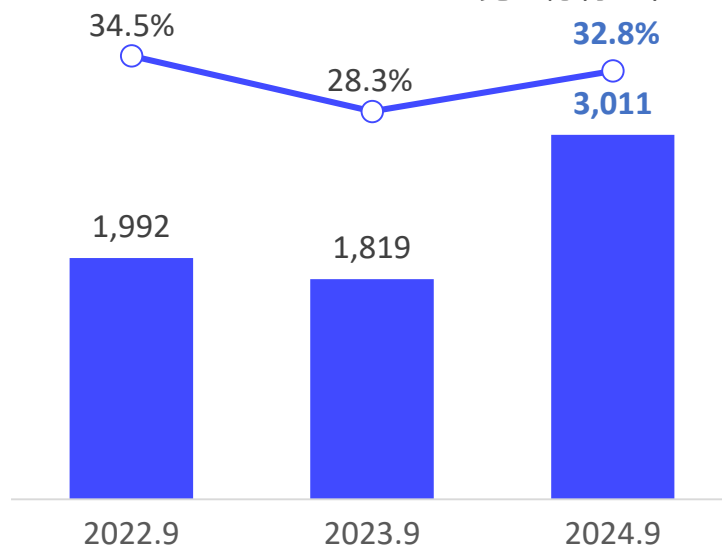
■ 分譲マンション事業 ■ 不動産販売 ■ その他



売上総利益 (百万円)

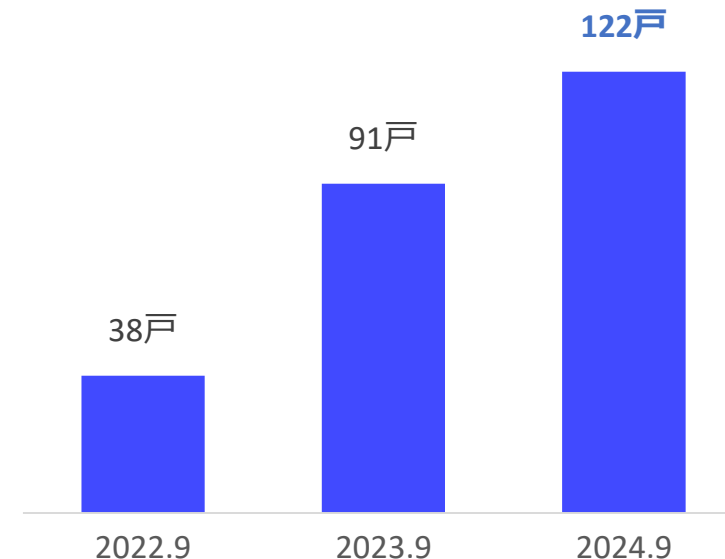
前期比**11億円増 (65.5%増)**

○ 売上総利益率



分譲マンション販売戸数 (戸)

前期比**31戸増 (34.1%増)**



※その他には、賃貸事業・流通事業・建築事業に含まれない子会社の事業等を含む。

- **総資産**：手元資金の保有水準を見直したことにより現金預金が減少したほか、政策保有株式の売却などにより投資その他の資産が減少し、総資産は41億円の減少
- **負債**：大型物流施設工事の施工の進捗に伴い未成工事受入金が減少したことに加え、法人税等の支払いなどにより、流動負債その他が減少したことで、負債合計は35億円の減少
- **純資産**：利益剰余金の計上があった一方、配当金の支払いにより、純資産は5億円の減少

□ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		2024.3 実績	2024.9 実績	増減
流動資産	現金預金	19,987	16,392	▲3,595
	売上債権	39,657	40,040	382
	未成工事支出金	3,251	3,019	▲232
	販売用不動産	21,016	20,784	▲231
	その他	3,997	4,210	213
	計	87,910	84,447	▲3,463
固定資産	有形固定資産	27,148	26,955	▲193
	無形固定資産	728	704	▲23
	投資その他の資産	10,213	9,721	▲491
	計	38,090	37,382	▲708

負債の部		2024.3 実績	2024.9 実績	増減
流動負債	仕入債務	11,112	11,444	331
	短期借入金	14,100	19,300	5,200
	未成工事受入金	8,853	4,691	▲4,161
	その他	9,642	4,301	▲5,340
	計	43,708	39,738	▲3,970
固定負債	長期借入金	8,300	8,600	300
	その他	7,453	7,542	89
	計	15,753	16,142	389
負債合計		59,461	55,880	▲3,581
純資産		66,538	65,948	▲589

資産合計	126,000	121,829	▲4,171
------	---------	---------	--------

負債・純資産合計	126,000	121,829	▲4,171
----------	---------	---------	--------

□主要経営指標

(単位：百万円)

	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2024.3実績	2023.9実績	2024.9実績
総資産経常利益率 (ROA)	6.3%	5.0%	5.9%	7.5%	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	6.2%	8.6%	7.6%	10.2%	—	—
1株当たり当期純利益 (EPS)	75.86円	112.18円	104.83円	150.23円	—	—
自己資本比率	42.1%	49.4%	46.5%	52.8%	46.0%	54.1%
有利子負債	42,940	30,400	31,900	22,400	35,900	27,900
NET有利子負債 (※)	20,848	8,388	9,078	2,413	15,129	11,508

(※) NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

□連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019.9実績	2020.9実績	2021.9実績	2022.9実績	2023.9実績	2024.9実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,823	4,050	4,732	4,580	▲ 4,174	▲ 7,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,462	▲ 0	▲ 2,014	▲ 586	▲ 816	▲ 444
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,739	4,169	▲ 5,023	▲ 5,420	2,951	4,191

■ 受注高

大型物流施設や大型オフィスビルなど複数の大型建築工事を受注したことで、受注高は707億円と前期比473億円の大幅増加となり中間期として過去最高を更新

■ 次期繰越高

前年下半期の受注が好調であったことに加え、当期の受注高が大きく増加したことで、下半期以降の売上高に寄与する次期繰越高は1,593億円と前期比822億円の大幅増加となり、中間期として過去最高を更新

□ 受注高

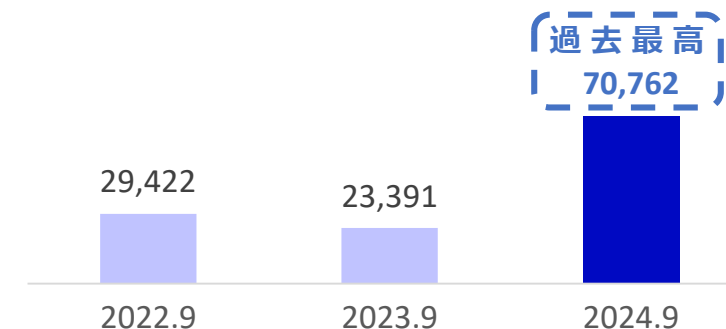
	2022.9 実績	2023.9 実績	2024.9 実績	(単位：百万円) 前期比	
				増減額	増減率
建築工事	17,444	10,761	50,691	39,929	371.0%
土木工事	11,978	12,629	20,071	7,441	58.9%
合計	29,422	23,391	70,762	47,370	202.5%

□ 次期繰越高

	2022.9 実績	2023.9 実績	2024.9 実績	(単位：百万円) 前期比	
				増減額	増減率
建築工事	56,955	45,479	118,067	72,587	159.6%
土木工事	27,079	31,625	41,291	9,665	30.6%
合計	84,034	77,105	159,358	82,252	106.7%

受注高 (百万円)

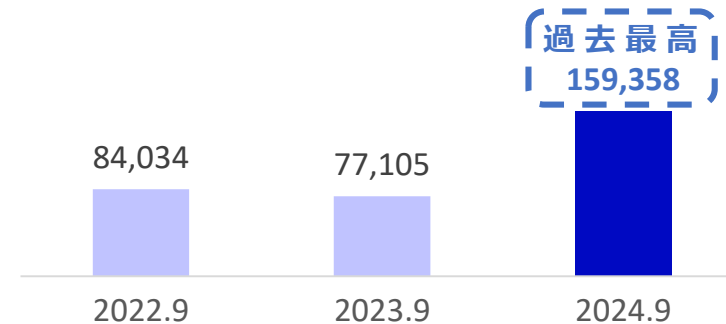
前期比**473**億円増 (202.5%増)



【ご参考】前期までの過去最高値
2020年3月期中間期 52,370百万円

次期繰越高 (百万円)

前期比**822**億円増 (106.7%増)



【ご参考】前期までの過去最高値
2021年3月期中間期 99,306百万円

Ⅱ

2025年3月期通期業績予想

2025年3月期の通期予想は、売上高1,400億円（前期比200億円増）【過去最高】、営業利益82億円（前期比13億円減）、当期純利益54億（前期比10億円減）の増収減益を見込む

※ 中間期実績は予想を上回ったが、通期予想は、2024年5月9日の公表数値を据え置いている。
 なお、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示を予定。

■ 売上高

建設事業が増収となることにより、売上高全体では前期に引き続き、過去最高となる見込み

■ 利益

建設事業は増益となる一方、不動産事業において下半期に大規模自社開発産業用地の売却を見込むものの、前期ほどの規模には至らず減益となり、各利益段階で前期実績を下回る見込み

□ 2025年3月期連結予想

(単位：百万円)

	2024.3 実績	2025.3 通期予想	増減額	前期比 増減率
売上高	119,824	140,000	20,175	16.8%
完成工事高	96,230	119,000	22,770	23.7%
不動産事業等売上高	23,594	21,000	▲2,594	▲11.0%
売上総利益	19,797	18,900	▲897	▲4.5%
(売上総利益率)	(16.5%)	(13.5%)		▲3.0pt
完成工事総利益	9,584	10,600	1,016	10.6%
不動産事業等総利益	10,212	8,300	▲1,912	▲18.7%
販売費及び一般管理費	10,282	10,700	418	4.1%
営業利益	9,514	8,200	▲1,314	▲13.8%
(営業利益率)	(7.9%)	(5.9%)		▲2.0pt
経常利益	9,588	8,200	▲1,388	▲14.5%
(経常利益率)	(8.0%)	(5.9%)		▲2.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,462	5,400	▲1,062	▲16.4%
(当期純利益率)	(5.4%)	(3.9%)		▲1.5pt

売上高・営業利益増減要因（対2024.3期実績）

■ 売上高

建設事業：前期に受注した過去最大規模の建築工事の施工が進捗することなどにより、前期実績を上回る見込み

不動産事業：当期においても大規模自社開発産業用地の売却を予定するものの、前期に売却した大府東海開発プロジェクト1号宅地の規模には及ばず、前期実績を下回る見込み

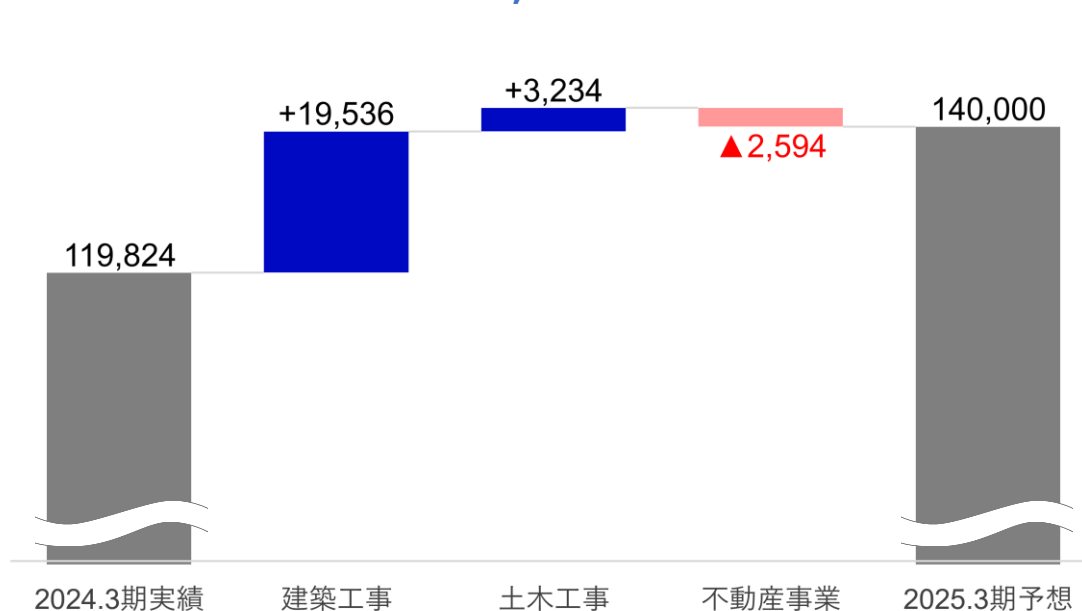
■ 利益

建設事業：増収効果により、前期実績を上回る見込み

不動産事業：減収の影響により、前期実績を下回る見込み

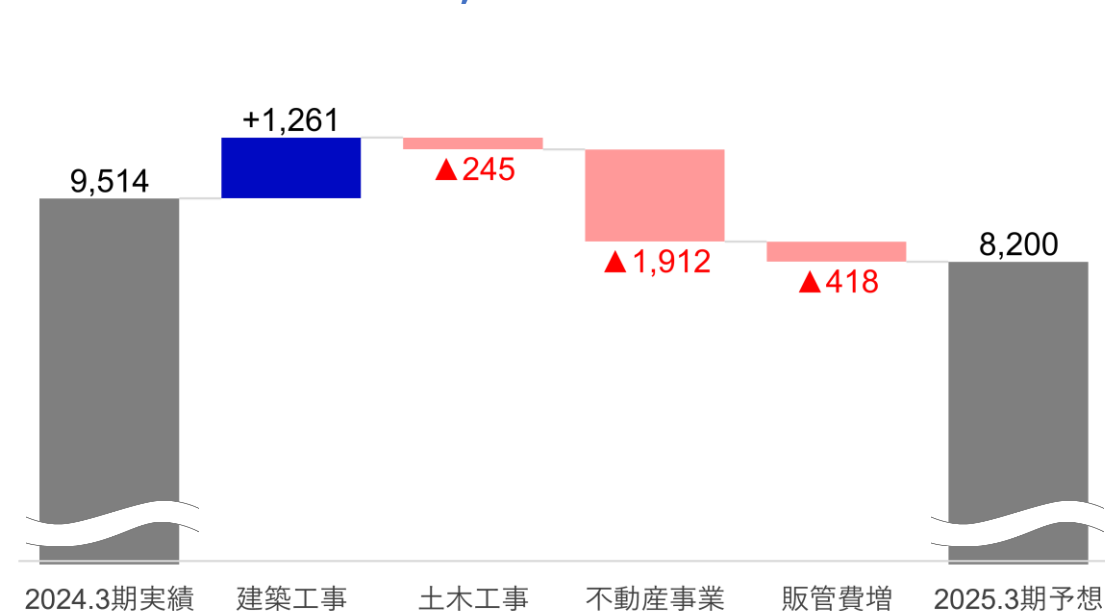
売上高（百万円）

対前期 **20,175**百万円増



営業利益（百万円）

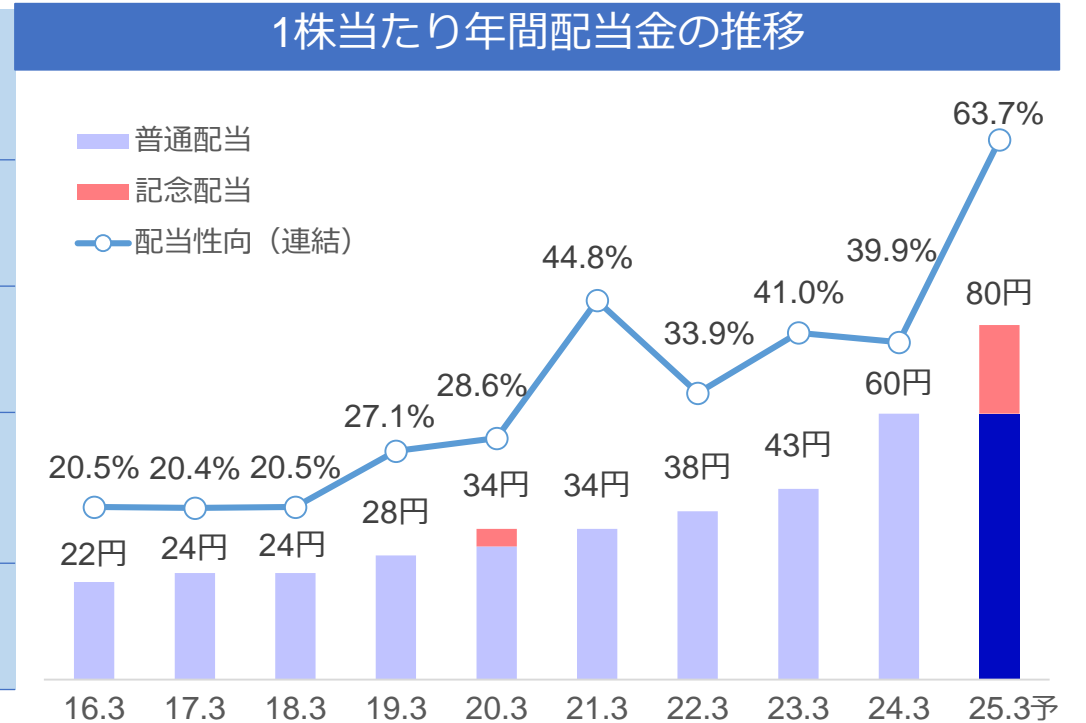
対前期 **1,314**百万円減



- 2025年3月期の中間配当金は公表値どおり40円（普通配当30円、創立75周年記念配当10円）とする
- 期末配当予想も公表値どおり40円（普通配当30円、創立75周年記念配当10円）とし、年間配当金は80円とする予定
- 4期連続で増配（12期連続で減配なし）予定
- 配当性向は、中期経営計画の配当方針「30%以上」を上回る水準で推移

	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
中間配当金	16円	17円	17円	19円	30円	40円
期末配当金	18円	17円	21円	24円	30円	40円（予想）
年間配当金	(※1) 34円	34円	38円	43円	60円	(※2) 80円（予想）
配当性向(連結)	28.6%	44.8%	33.9%	41.0%	39.9%	63.7%（予想）

(※1) 創立70周年記念配当4円を含む
 (※2) 創立75周年記念配当20円を含む



中期経営計画数値目標（2021年度～2025年度）

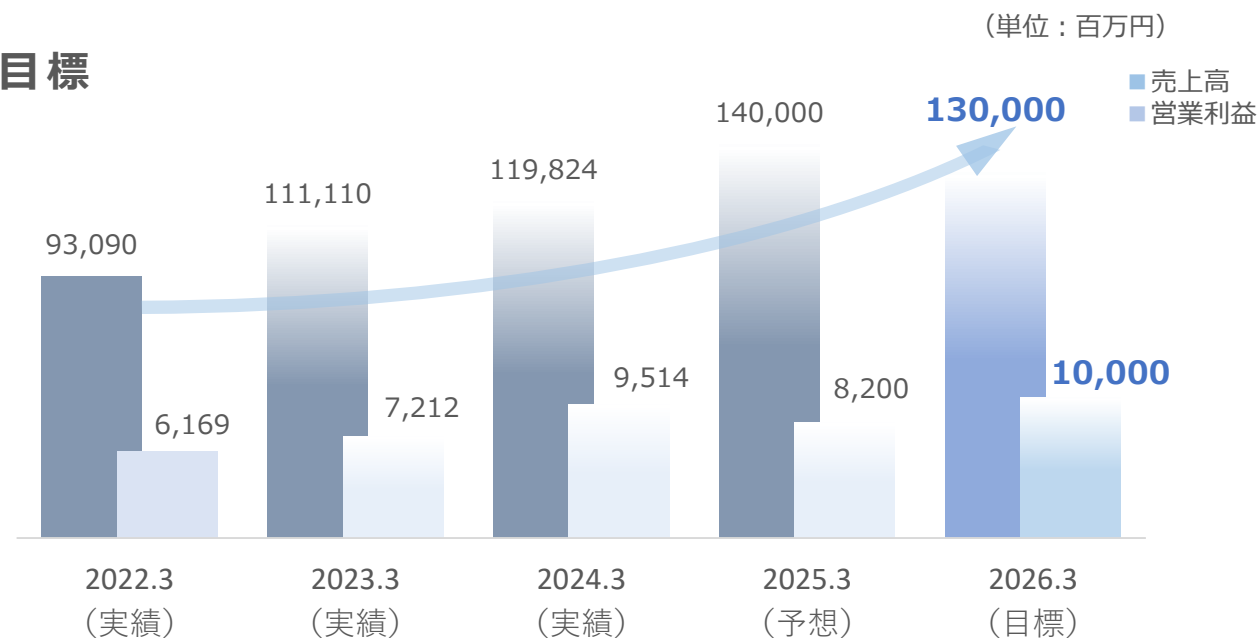
(単位：百万円)

	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3予想	2026.3目標
売上高	93,090	111,110	119,824	140,000	130,000
営業利益	6,169	7,212	9,514	8,200	10,000

中期経営計画最終年度(2026.3)目標

□ 連結売上高 : 1,300億円

□ 連結営業利益 : 100億円



Ⅲ

参考情報

1.連結業績の推移（5年分）並びに計画

(単位：百万円)

	2020.9	2021.9	2022.9	2023.9	2024.9	2025.3計画
売上高	46,247	46,852	41,495	52,158	58,760	140,000
(対前期比増減率)	(0.2%)	(0.0%)	(▲0.1%)	(25.7%)	(12.7%)	(16.8%)
営業利益	2,975	2,184	1,738	1,487	1,286	8,200
(対前期比増減率)	(0.3%)	(▲0.3%)	(▲0.2%)	(▲14.4%)	(▲13.5%)	(▲13.8%)
経常利益	3,058	2,211	1,775	1,564	1,325	8,200
(対前期比増減率)	(0.3%)	(▲0.3%)	(▲0.2%)	(▲11.9%)	(▲15.3%)	(▲14.5%)
親会社株主に帰属 する中間純利益	2,104	1,577	1,206	1,017	967	5,400
(対前期比増減率)	(0.4%)	(▲0.3%)	(▲0.2%)	(▲15.6%)	(▲4.9%)	(▲16.4%)

□ <ご参考>

連結初年度
過去最高値

1991年3月期

◎売上高

2025年3月期中間期 **58,760百万円**
 【ご参考】前期までの過去最高値 2024年3月期中間期 52,158百万円

◎営業利益

2017年3月期中間期 **4,138百万円**

◎経常利益

2017年3月期中間期 **4,176百万円**

◎親会社株主に帰属する
中間期純利益

2017年3月期中間期 **3,110百万円**

2.連結子会社の状況（2024年9月30日現在）

名称	住所	資本金 (百万円)	決算期	事業内容	中間期の 業績 売上高 (百万円)
矢作地所(株)	名古屋市東区	800	3月	分譲マンション事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	5,803
矢作ビル&ライフ(株)	名古屋市東区	400	3月	マンション・ビル管理事業、建築事業	2,114
ヤハギ緑化(株)	名古屋市東区	100	3月	緑化事業、ゴルフ場コース管理事業	1,503
(株)テクノサポート	名古屋市東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	593
ヤハギ道路(株)	愛知県豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	3,050
南信高森開発(株)	長野県下伊那郡 高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	217
北和建設(株)	京都市下京区	85	3月	建築事業	2,705
南知多未来 パートナーズ(株)	愛知県知多郡 南知多町	30	3月	師崎港観光センター周辺整備運営事業	28

(注) 1.矢作地所(株)、矢作ビル&ライフ(株)、ヤハギ緑化(株)、(株)テクノサポート、ヤハギ道路(株)、南信高森開発(株)、北和建設(株)の7社は、全て矢作建設工業(株)の100%子会社である（南信高森開発(株)については、間接所有分が69%である）。
2.南知多未来パートナーズ(株)は、議決権の66.7%を間接所有する矢作建設工業(株)の子会社である。

3.受注高、売上高、次期繰越高（連結）

（単位：百万円）

区分		受注高				売上高				次期繰越高				
		2023.9 実績	2024.9 実績	前期比		2023.9 実績	2024.9 実績	前期比		2023.9 実績	2024.9 実績	前期比		
				増減額	増減率			増減額	増減率			増減額	増減率	
工事	建築	官庁	-	1	1	-	-	771	771	-	28	862	833	-
		民間	10,761	50,689	39,927	371.0%	31,911	35,024	3,112	9.8%	45,451	117,205	71,753	157.9%
	計		10,761	50,691	39,929	371.0%	31,911	35,795	3,883	12.2%	45,479	118,067	72,587	159.6%
	土木	官庁	5,480	6,470	989	18.1%	5,891	5,796	▲ 95	▲ 1.6%	12,454	18,821	6,366	51.1%
		民間	7,149	13,601	6,451	90.2%	7,925	7,989	64	0.8%	19,171	22,469	3,298	17.2%
	計		12,629	20,071	7,441	58.9%	13,817	13,785	▲ 31	▲ 0.2%	31,625	41,291	9,665	30.6%
	官庁	官庁	5,480	6,471	990	18.1%	5,891	6,567	675	11.5%	12,482	19,683	7,200	57.7%
		民間	17,911	64,290	46,379	258.9%	39,837	43,013	3,176	8.0%	64,622	139,674	75,052	116.1%
	合計		23,391	70,762	47,370	202.5%	45,728	49,581	3,852	8.4%	77,105	159,358	82,252	106.7%
	不動産事業等						6,429	9,179	2,749	42.8%				
合計						52,158	58,760	6,602	12.7%					

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。